

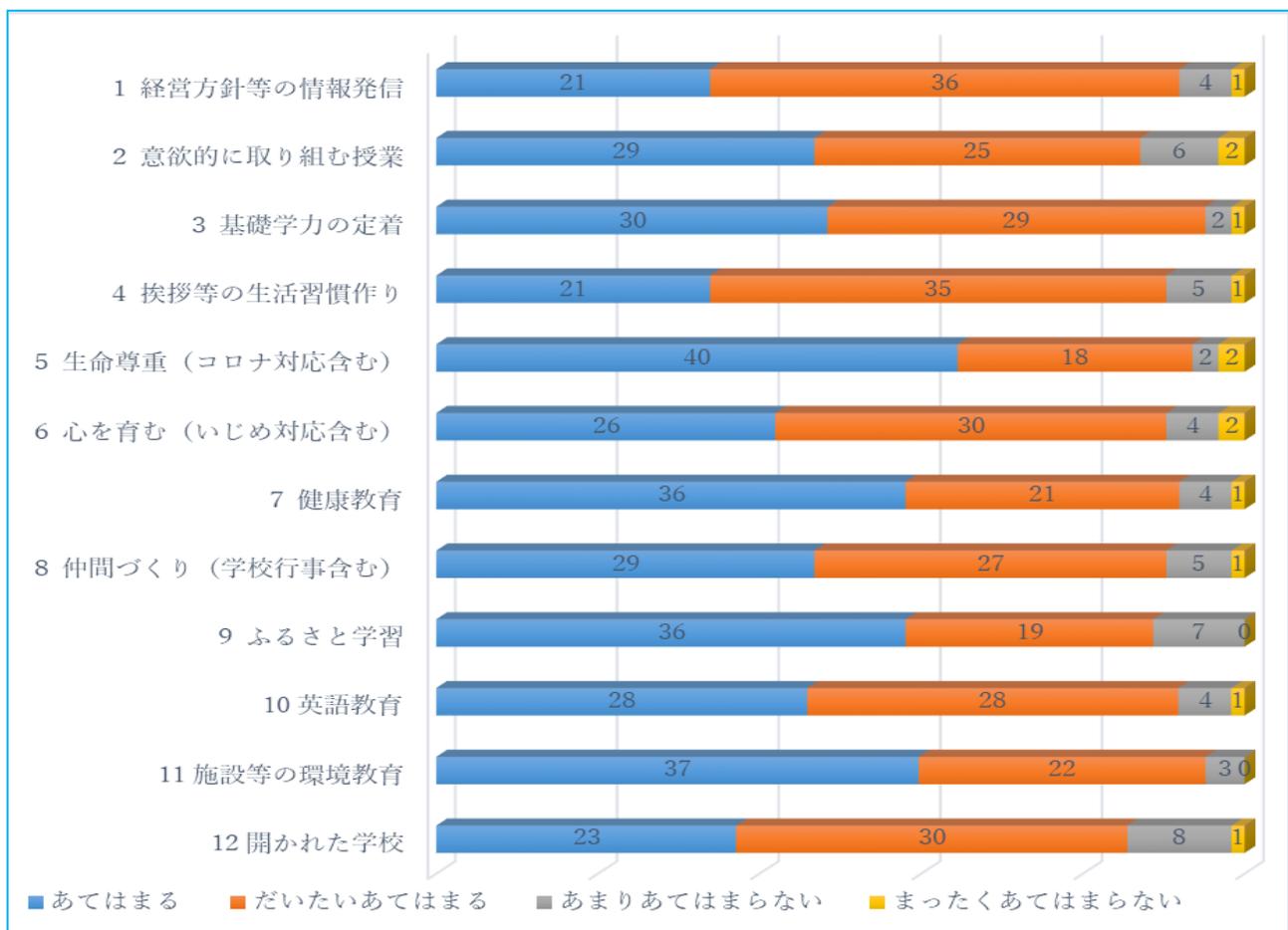


令和3年度保護者アンケートの結果

昨年12月に、今年度の三輪北小学校の教育活動につきまして、保護者の皆様にアンケートを実施させていただきました。ほぼ100パーセントの保護者の皆様よりご回答をいただくことができました。ありがとうございました。

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルスに係る対応をしながらの教育活動となりました。毎日の検温と健康チェック、マスクの着用やこまめな手洗いが、生活習慣の一部としてすっかり定着しました。接触を極力減らすために、「あいさつタッチ」の中止も継続しています。学習面では、密を避けることや飛沫の飛散防止対策をしながら、少しでも通常の学習活動に近づけるようにしてきました。児童の机に飛散防止シールドを設置し、通常の音読やペア・グループでの話し合い活動、リコーダーや鍵盤ハーモニカの学習を実施しました。また、体育の学習では回数は少なめでしたが、水泳の学習を実施しました。行事等も、「緊急事態措置を実施すべき区域」や「まん延防止等重点措置区域」の指定に大きく影響を受けました。紙面によるPTA総会、授業参観の中止。日帰りで実施した野外学習（5年生）、修学旅行（6年生）。運動会は参加者の制限等をして実施しました。二分の一成人式（4年生）や社会見学（3年生）は、実施形態をかえて行う予定です。このように、昨年度に比べれば実施できた行事もありましたが、まだまだ元通りというわけにはいきません。

このような状況の今年度ですが、保護者の皆様に回答いただいたアンケートを集計いたしました結果（グラフ）と、いただきましたコメントから、次のように考察をしました。



【考察】

- 今年もコロナ禍で、行事の中止や変更があり例年とは異なる状況であったが、ご理解とご協力を得ることができた。今年度一部行事を再開できたことについて、評価していただいた。
- 生命尊重については、特にコロナ対応において、学校の取組を評価していただいた。各家庭での協力も引き続きいただいている。
- 意欲的に取り組む授業について、タブレット端末を活用した授業づくりを評価していただけている。今後更に、活用場面や活用方法を研究し、子どもたちの意欲向上につなげていく。
- 英語教育について、全学年にALTを配置しネイティブな英語にふれることや、高学年の教科担任制の授業を評価していただいた。高学年においては、職員構成に応じた教科担任制をできるだけとり入れていく。
- 運動場の芝生の管理においては、年間複数回にわたりご尽力をいただいている。また、ボランティア活動として、普段できない清掃活動等にもご協力いただいた。
また、課題として、次のことに取り組んでいくよう検討を進めます。
- ▲特に1、12の項目として、「授業参観が中止になり子どもたちの様子がわからないので、学校での子どもたちの様子を知らせてほしい」「授業参観を臨機応変に実施してほしい（授業参観の実施方法も含む）」というご意見を複数いただきました。再開できた行事がある中、授業参観や懇談会は実施できていません。学校や学級の様子をお伝えしていく重要性を一層感じました。臨機応変な授業参観の実施については、PTA本部役員の皆さんとも検討していきます。
- ▲項目6いじめ対応を含む心の教育では、より児童一人ひとりの心に寄り添うこと、組織的に対応していくことを大切にし、道徳教育にもさらに力を入れていくことで、安心して子どもたちを学校に送り出していけるようにしていきます。
- ▲項目4挨拶等の生活習慣作りでは、あいさつタッチができなくても、さわやかにあいさつをかわしあうことができるよう、あいさつをする意味やねうちについて指導を継続します。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後の学校運営にいかしていきたいと思っております。今後も、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。